

半田市で育った環境に優しいミニトマト『HANDA ミラトマト』を 12月の温暖化防止月間に学校給食で初めて提供します

■提供日:12月3日(火) ■提供先:半田市内5中学校

株式会社にじまち(本社:愛知県半田市)が運営する「バイオファーム HANDA」にて栽培されたブランドミニトマト「HANDA ミラトマト」を、半田市内5中学校の給食で初めて提供します。バイオガス発電施設から供給された二酸化炭素と熱を活用して栽培されたミニトマトを食べてもらうことで、生徒たちに、地球温暖化防止や循環型社会への理解を深めてもらおうと、半田市学校給食センターが企画しました。

■『HANDA ミラトマト』の提供概要■

提供日:2024年12月3日(火) 提供先:半田市内5中学校(半田、乙川、亀崎、成岩、青山)
提供数量:約100kg(生徒一人に対して2個)

■『HANDA ミラトマト』が提供される学校給食の現場取材いただけます。

取材ご希望の方は、事前にお申し込みください。申し込み方法は本リリースの最下部をご覧ください。

日時12月3日(火)12:35~13:15 場所:半田市立乙川中学校(半田市大池町3丁目1)

取材内容:学校給食の配膳・試食の様子

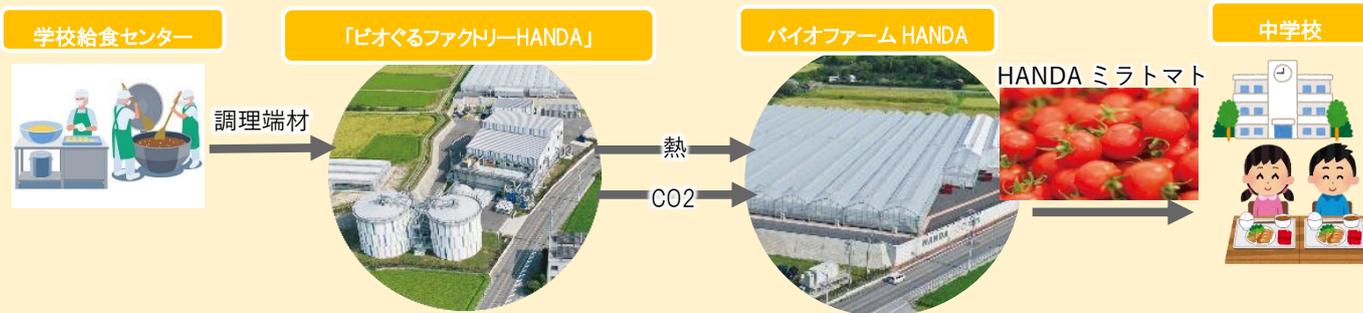
生徒へのインタビュー(希望者のみ)

給食センター担当者による今回の取り組みの説明と想い

『HANDA ミラトマト』が生産される循環過程について

「HANDA ミラトマト」は、半田市バイオマス産業都市構想の植物工場プロジェクトとして、2023年4月に稼働開始した「バイオファーム HANDA」で生産されています。「HANDA ミラトマト」は、半田市の循環型社会を支える一環として、バイオガス発電施設「ピオぐるファクトリーHANDA」のエネルギー(熱・二酸化炭素)を活用して生産されています。この発電施設では、学校給食から出た調理端材などもバイオマス資源として活用していて、地域の資源を循環的に利用する仕組みになっています。このように生産された「HANDA ミラトマト」は、化石燃料を一切使用せずに栽培された、環境にやさしいミニトマトです。

『HANDA ミラトマト』ができる循環の仕組み



半田市バイオマス産業都市構想とは・・・

畜産ふん尿等を利用したバイオガス発電と、その排熱・排ガスを利用した植物工場を中心とした4つ(①畜産ふん尿等を利用したバイオガス発電プロジェクト②排熱・排ガスを利用した植物工場プロジェクト③メタン発酵消化液の液肥利用プロジェクト④畜産ふん尿の臭気低減プロジェクト)の事業化プロジェクトにより、「循環型社会の形成」「農業の振興」「畜産臭気の高減」を目指すもの。「HANDA ミラトマト」の栽培は②のプロジェクト

地域資源を活用した 環境にやさしい『HANDA ミラトマト』の特徴



- ✓見た目 鮮やかな赤色とぶりつとした美しい丸い形
- ✓糖度 9~10度。糖度8度以上で分類される「高糖度トマト」
- ✓『HANDA ミラトマト』商品名の由来
地域の未来とイタリア語の羨望の的の組み合わせから
- ✓収穫時期 11月~7月
※半田市ふるさと納税の返礼品にもなっている

■取材に関する申し込み・問い合わせ 半田市学校給食センター 所長 榊原 TEL:0569-26-1831

■『HANDA ミラトマト』に関する問い合わせ 株式会社にじまち 白羽 TEL:090-6525-9968